

WFOT Congress 2014 プレコンgressワークショップ
ワークショップ概要

セッションカテゴリー	半日ワークショップ
セッションコード	PW 16
セッションタイトル	遂行機能の実践型評価 (Performance Based Assessment) : 作業遂行に影響を与える認知障害の特定
セッション企画者	Dorothy Edwards
キーワード	アセスメントと評価, Prevention of activity/participation limitation
ワークショップ概要	<p>実践型検査 (Performance Based Testing 以下, PBT) は, 作業療法実施において有意義であるが, まだ認識されていない可能性があります。</p> <p>我々 (Multidisciplinary team) は, 軽度脳血管障害者を対象とした研究結果を事例として紹介し, 認知と作業遂行に問題を持ちながらもそれらが認識されにくい方々への評価と治療について提示します。</p> <p>軽度外傷性脳損傷や軽度脳血管障害・心臓外科手術・化学療法後や他の症状を持つ人たちは明らかにになりにくい遂行機能障害を持ちやすく, この障害は本人たちの作業遂行や地域参加や役割遂行を困難にしています。</p> <p>作業療法士は, 地域参加や役割遂行混乱をまねく前の急性期/入院期間中に, このような症状を持つ個人を特定し治療を行うといった重要な役割を担っています。</p> <p>最近の作業療法の評価と治療は, 日常生活動作の機能的自立に焦点を当てており, 複雑な認知機能を必要とする役割遂行や活動参加への評価や介入は不十分です。</p> <p>ワークショップでは以下の活動を予定しています:</p> <p>観察される神経学および認知機能障害の概観, 認知機能 PBT の理論的根拠と利点, 妥当性がある2つのPBT : 遂行機能実践テスト (Executive Function Performance Test ; EFPT) と多課題性お使いテスト (Multiple Errands Test ; MET) の施行・採点・その解釈, そして治療介入への討議. また, 参加者は提示する事例を検討し, その評価結果に基づいた治療計画についての議論。</p> <p>このワークショップの参加者は以下のことが可能になることを目的としています:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 軽度脳血管障害やその他の状態に関連する神経学および認知障害を説明できる. 2. OT の評価と治療における PBT の使用に関し討議できる. 3. EFPT と MET の信頼度, 有効性, 施行, 採点および解釈について説明できる. 4. 検査結果を使用して, 作業遂行や地域参加・役割遂行への復帰を援助するための OT 治療計画を提案できる. 5. OT における PBT の可能性を説明できる. <p>教授方法: 講義, テスト施行のビデオ, EFPT および MET の採点と解釈の練習, および小グループディスカッションによる提示症例を用いた治療計画の提案を行います。</p>
人数	-